

単元名 うたで まねっこ

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想の呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことができる。
- (3) 交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むもうとする。

標準的な展開例

01070301_001

【教材名】 もりのくまさん（歌唱） フルーツケーキ（歌唱） (P. 52～P. 55)

【準備等】 範唱CD，カスタネット，鈴

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 歌い方をまねしながら「もりのくまさん」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手拍子で先生のリズムのまねっこをする。 ★ うたの まねっこで あそぼう ○ 「もりのくまさん」を歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて曲の感じをつかむ。 ・ 歌詞を音読し、様子を理解する。 ・ 様子を思い浮かべて歌う。 ○ いろいろな強さを試しながら交互唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先に歌うグループの強さをまねして歌う。 ・ 先に歌うグループの強さと反対の強さで歌う。 ・ 先に一人が歌い、全員でまねして歌う。 ○ 「もりのくまさん」の1番～5番それぞれの歌い方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容にあった強弱や歌い方。 ・ 歌う人数の工夫。 ○ 「もりのくまさん」の学習で楽しかったことを振り返る <p>3～4 言葉をまねしながら「フルーツケーキ」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「フルーツケーキ」を歌う。 ★ ことばの まねっこで あそぼう <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて曲の感じをつかむ。 ・ 範唱に合わせて、3拍子の流れを感じながら歌う。 ○ 体を動かしながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前半はゆるやか。 ・ 後半は拍をはっきりと感じて。 ○ 後半を二つに分かれて交互唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌う強さをまねて歌う。 ・ 歌う強さを変えて歌う。 ○ 「フルーツケーキ」を、打楽器を加えて歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二つのグループに分かれ、まずは手拍子で1小節ごとに交互にリズム打ちをする。3回繰り返し、最後の2小節は一緒に打つ。 ・ 楽器で同様にリズム打ちをする。 ・ 交互唱に合わせて打楽器を交互に打って合わせる。 ○ 「たん たん たん」の3拍子に好きなフルーツの名前を当てはめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打つ位置や強さを変えて、音色や強弱を変化させながらリズムを打つようにする。 ・ 歌の様子を理解させるために、ペープサートなどを利用してもよい。 ・ クラスを二つ分け、先か後かを決めて歌わせたり、順番を入れ替えて歌わせたりする。 ・ 交互唱の楽しさを理解させるため、いろいろな歌い方を経験させる。 ・ 先に歌うグループの強さを決めておく。 ・ 歌い方の工夫が見られた児童には理由を聞きアイディアとして共有させる。 【共通事項】 呼びかけとこたえ 【評】 曲想と音楽の構造との関わりに気付きながら交互唱をする活動を通して「知識」を評価する。 ・ フレーズごとの歌詞の内容から、どのように歌うか意見を出し合わせる。 ・ 出た意見を板書し、みんなで歌って試しながらまとめていく。 【共通事項】 フレーズ 【評】 友達と試しながら歌い方を工夫していく活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 歌の様子を理解させるために、ケーキの写真や絵の掲示物をあらかじめ用意するとよい。 ・ 前半部分と後半部分のフレーズの感じを確認し、前半は大きな3拍子の流れを感じさせるよう、教師が腕を動かしながら歌わせる。 ・ 後半は軽快に拍打ちをしながら歌わせる。 【共通事項】 フレーズ 拍 ・ 「もりのくまさん」を思い出して歌のまねっこをするよう声を掛ける。 ・ 先に歌うグループの強さを決めておく。 【共通事項】 呼びかけとこたえ 【評】 歌声を聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 最初に手拍子でリズムや拍を確認し、交互に演奏させる。 ・ 手拍子と膝打ちなど、音色を変えてもよい。 ・ あらかじめ鈴とカスタネットを用意しておき交替で演奏できるようにする。 【共通事項】 リズム 【評】 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり演奏したりする活動を通して「技能」を評価する。 ・ フルーツの絵をあらかじめ用意して選ばせたり、一人一人考えさせたりする。 ・ 児童が考えた名前が拍にはまりにくい場合は

- フルーツの名前をまねっこしながらつなげて遊ぶ。
 - ・ 一人→みんな でまねっこしてつなげる。
- 「フルーツケーキ」の学習で楽しかったことを振り返る

拍を手で打ちながら当てはめ方を支援する。

- ・ <音のスケッチ>（ことばのリズムであそぼう）を想起させる。
- ・ 拍にのってつなげるようにする。

【 備 考 】